

# 令和5年度予算と事業計画決まる

## 保険給付費と納付金がともに増加 単年度収支で赤字の予算に

去る令和5年2月27日(月)に開催された第80回組合会において、当健保組合の令和5年度予算と事業計画が可決・承認されましたので、そのあらましをお知らせいたします。

### 健保組合を取り巻く状況

健康保険組合連合会(以下、健保連)が発表した「健康保険組合の令和3年度決算見込と今後の財政見通しについて」によると、令和3年度の健保組合の財政状況は、収入ベースとなる平均標準報酬月額・平均標準賞与額が微増となったものの、保険給付費・納付金がともに増加したことで、経常収支差引額は平成25年度以来8年ぶりの赤字となりました。平成25年度の平均保険料率は8・67%でしたが、令和3年度は9・23%にまで引き上げられており、財政運営の厳しさが増えています。

全国の健保組合は高齢者の医療を支えるために、多額の納付金を拠出しているため、社会の高齢化は多くの健保組合の財政を悪化させる構造的な問題となっています。令和7年までには、人口のボリュームが多い「団塊の世代」がすべて75歳以上(後期高齢者)となるため、納付金の負担急増が懸念されています。

このような状況に対して、健保連は「現役世代の負担軽減と、全世代で支え合う制度への転換」などを国に対して強く求めています。

当健保組合の令和5年度予算は、前年度と同じ健康保険料率(千分の92)で編成しました。令和5年度の予算総額は前年度より2874万円多い2億8107万8千円です。収入の約80%が事業主と被保険者のみならずから納めていただく健康保険収入(国庫負担金収入含む)です。前年度より143万9千円少い2億

### 支出

支出のおよそ49%は、みなさんやご家族の医療費や各種給付金に充てられる保険給付費です。前年度より258万2千円少い1億3650万1千円を計上しています。

高齢者医療制度への納付金は、前年度より2750万3千円多い7995万2千円です。支出全体の約28%を占めており、大きな財政的負担となっています。

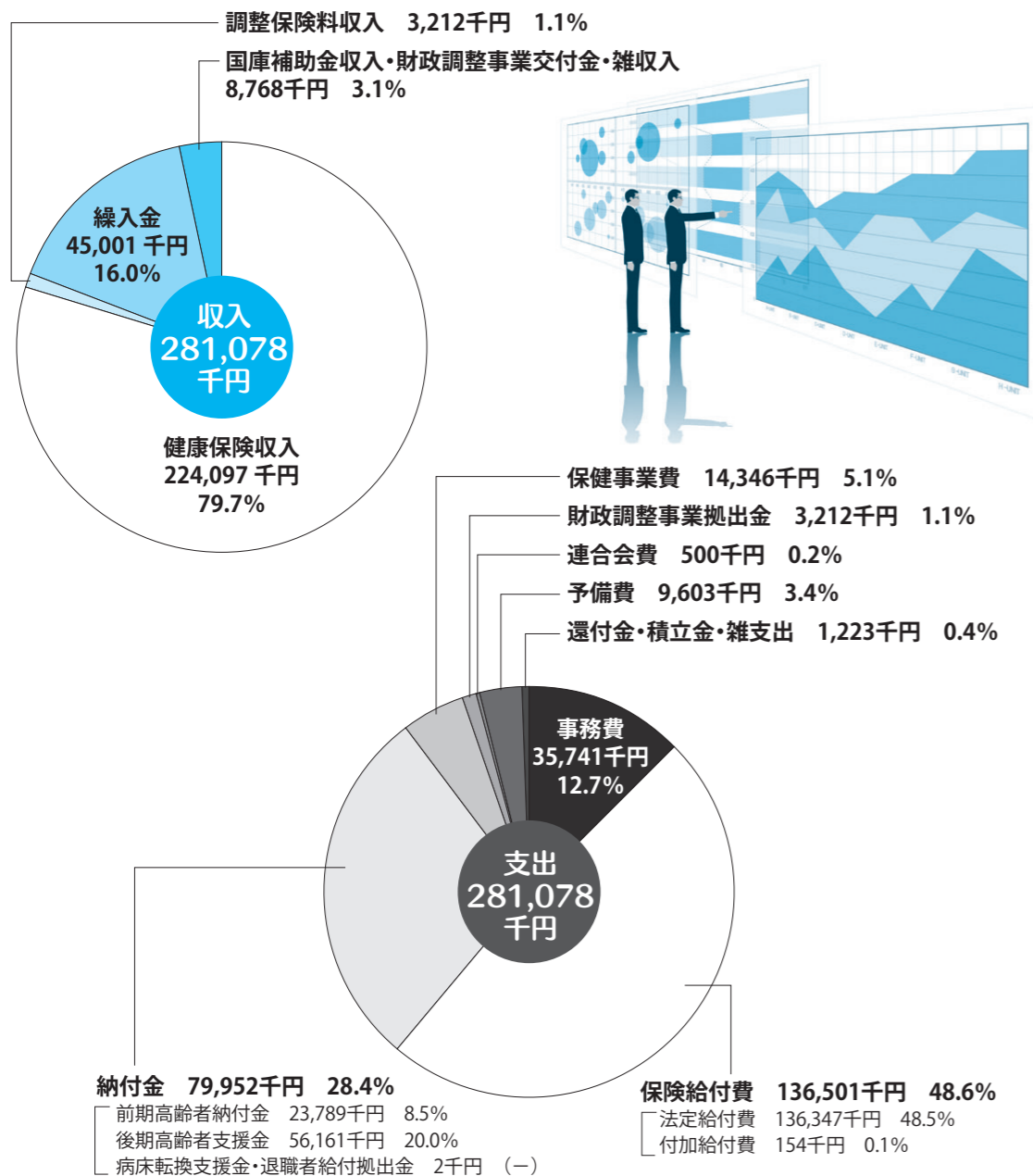
みなさんの健康づくりを応援するための事業として、保健事業費には1434万6千円を計上しております。健診や人間ドックの補助、さらに保健指導などを通してみなさまの健康管理を支援してまいります。これらの事業を積極的に活用して、健康づくりにお役立てください。

以上の結果、令和5年度は3944万円の赤字予算となりました。健康保険組合は、事業主と被保険者が保険料を出し合って運営しています。大切な財源を有効に活用するために、適正受診の励行やジェネリック医薬品の活用など、医療費の節減にご協力をお願い申し上げます。

そして、健康的なライフスタイルを心がけるようにしましょう。健康的な生活習慣は病気を遠ざけ、日々を快適に暮らすための一助となります。ご自身のために、ご家族のために、健康管理への意識を高めていきましょう。

## 収支の割合

※四捨五入の影響で100%になりません。



## 令和5年度も 健康づくりをサポートします

当健保組合では、みなさんの健康づくりをお手伝いしてまいります。左記の事業を積極的に活用して病気予防と健康づくりにお役立てください。

### 保健・衛生知識の普及のために

- ◆ ホームページの開設
- ◆ 医療費通知(3カ月ごと)
- ◆ 保健図書配布(新人対象)

### 病気の予防のために

- ◆ 特定健診・人間ドック  
40歳以上の被保険者・被扶養者を対象に年1回実施
- ◆ 特定保健指導  
対象者に実施
- ◆ 生活習慣病健診  
被保険者・被扶養者全員を対象に実施

